

# NARITA

## 市議会だより

NO. 53

発行/成田市議会 編集/成田市議会だより編集委員会 〒286-8585 成田市花崎町760 Tel 0476-20-1570(直通) Fax 0476-24-0336



▲“北羽鳥の獅子舞”市指定無形民俗文化財で毎年4月第1日曜日に演じられます(4月5日 北羽鳥香取神社)

### 3月定例市議会のあらまし

平成21年第1回定例市議会は、2月20日に招集され3月18日まで27日間の会期で開かれました。定例市議会の初日には、平成21年度一般会計予算や行政組織条例の一部改正など59議案が上程されました。

一般質問は、各会派の代表質問と個人質問が2月25日から4日間、18人の議員が登壇して行われ、3月2日には議案6件を同意し、また予算特別委員会が設置されました。3日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

最終日には議案53件と追加議案2件、また発議案1件を原案どおり可決し閉会しました。

### 主な内容

- ☆可決された議案の概要……P 2～4
- ☆審議案件一覧……P 5
- ☆特別委員会から……P 4・6～7
- ☆20年度の行政視察……P 6
- ☆予算特別委員会の審査内容……P 7
- ☆一般質問から……P 8～16
- ☆コーヒータイトム……P 16

### 【3月定例市議会の日程】

期 日	内 容
2月20日(金)	本会議(開会、会期の決定、全議案一括上程)
25日(水)	本会議(代表質問)
26日(木)	本会議(一般質問)
27日(金)	本会議(一般質問)
3月2日(月)	本会議(一般質問、議案審議、議案質疑、委員会付託)
3日(火)	新清掃工場整備特別委員会 新駅・基幹交通網整備促進特別委員会
4日(水)	空港対策特別委員会 教育民生常任委員会
5日(木)	経済環境常任委員会 建設水道常任委員会
6日(金)	総務常任委員会
9日(月)	予算特別委員会
10日(火)	予算特別委員会
11日(水)	予算特別委員会
13日(金)	新清掃工場整備特別委員会
19日(水)	本会議(会議録署名議員指名、全議案審議、閉会)



成田市



# 62議案を可決・同意

## 平成21年度当初予算や 成田市介護保険条例の一部改正など

3月の定例市議会では、条例の制定・一部改正28件、補正予算関係案件10件、当初予算案件10件、市有財産の取得など59議案が審議され、原案どおり可決・同意されました。また、最終日に議員から提出された発議案1件と追加議案2件も可決されました。議会に寄せられた請願2件はいずれも不採択となりました。

### ●可決された 議案の概要

上程された議案は、各常任委員会に付託され審査が行われた後、最終日の本会議で可決されました。

### 総務常任委員会

▼成田市行政組織条例の一部を改正するについて

【内容】行政需要に的確に対応できる利便性の高い市役所とするため、平成21年4月1日から市の組織を改めることに伴い、所要の改正を行うもの。

【主な質疑】

問 機構改革の理由は。

答 子育て環境、財政機能について重点的に強化を図りたい。

▼成田市水道事業管理者の廃止に伴う関係条例の整理等に関する条例を制定するについて

【内容】水道事業管理者を廃止することに伴い、関係する条例を一括して改正するもの。

▼成田市個人情報保護条例の一部を改正するについて

【内容】平成21年4月1日からの新たな統計法の施行と統計報告調整法の廃止に伴い、所要の改正を行うもの。

▼成田市任期付職員の採用に関する条例を制定するについて

【内容】任期付職員の採用制度を導入するに当たり、必要な事項を定めるもの。

▼成田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正するについて

【内容】国及び千葉県との勧告に基づき、職員の勤務時間の改定を行うとともに、任期付短時間勤務職員及び育児短時間勤務職員の勤務時間等について、所要の改正を行うもの。

▼成田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正するについて

【内容】育児短時間勤務制度を導入するにあたり所要の改正を行うとともに、短時間勤務職員を採用できる規定を設けるもの。

▼成田市職員の自己啓発等休業に関する条例を制定するについて

【内容】職員の自己啓発等休業

に關し必要な事項を定めるもの。  
▼非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正するについて

【内容】健康管理医について、成田小学校及び西中学校が配置規準に達する見込みであることから、本条例に「健康管理医」を追加するもの。

【主な質疑】

問 健康管理医の勤務の予定は、

答 年2回を予定している。

▼一般職員の給与に関する条例の一部を改正するについて

【内容】医療職給料表の適用を受ける職員について、欠員の補充が困難な場合に支給される初任給調整手当の上限額を引き上げる改定を行うとともに、任期付職員の給与・勤務時間の改正に伴い所要の改正を行うもの。

▼久住駅前特定土地地区画整理事業区域内の字の区域及び名称の変更に伴う関係条例の整理等に関する条例を制定するについて

【内容】換地処分公告に伴い、字の名称が変更されることから、関係する条例を一括して改正するもの。

▼成田市集会施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて

【内容】和田共同利用施設を平成21年4月1日から供用開始す

ることに伴い、本条例に新たに加えるもの。

▼成田市水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正するについて

【内容】水道事業以外の職員との均衡を失うことのないよう、所要の改正を行うとともに、短時間勤務職員等の給与について規定するもの。

▼成田市消防委員会条例の一部を改正するについて

【内容】委員構成を改正するとともに、規定の整理をするもの。

▼指定管理者の指定について（荒海共生プラザ）

【内容】平成21年4月1日から指定管理者による管理を行うに当たり、議会の議決を求めるもの。

▼千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組



▲健康ルームを備える荒海共生プラザ

合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

【内容】組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約を改正することについて、関係地方公共団体と協議を行うもの。

▼平成20年度成田市一般会計補正予算(第3号)

【内容】歳入歳出それぞれ27億4,625万8千円の増額補正を行うもの。

【主な質疑】

問 生活排水対策推進計画策定業務基礎調査委託は低価格で落札しているが適正か。21年度は随意契約を見込んでいるのか。

答 最低制限価格を設定しておらず、特に異常がない限り業者の提案を信頼する。業務に精通していることから、21年度は随意契約を予定している。

▼平成20年度成田市一般会計補正予算(第4号)

【内容】定額給付金の給付事業及び子育て応援特別手当の支給事業を実施するため、歳入歳出それぞれ20億8,182万4千円の増額補正を行うもの。

▼平成21年度成田市一般会計補正予算(第1号)

【内容】定額給付金の給付に併せて実施するプレミアム商品券発行事業を支援するため、歳入歳出それぞれ5千万円の増額補

正を行うもの。

## 教育民生常任委員会

▼成田市介護従事者処遇改善臨時特例基金の設置、管理及び処分に関する条例を制定するについて

【内容】平成21年度の介護報酬改定に伴う介護保険料の上昇を抑制するために、臨時特例基金を設置するに当たり、条例を制定するもの。

▼成田市社会福祉法人の助成に関する条例の一部を改正するについて

【内容】市外の社会福祉法人に対する助成の根拠を明確にするため、所要の改正を行うもの。

▼成田市保健福祉審議会設置条例の一部を改正するについて

【内容】委員構成から市議会議員を削除するとともに、規定の整理を行うもの。

▼成田市地域福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて

【内容】下総及び大栄地域福祉センターについて、平成21年度から直営の管理に移行することに伴い、所要の改正を行うもの。

▼成田市保育所設置条例の一部を改正するについて

【内容】平成21年4月1日の中台第二保育園の開所と、加良部保育園の廃止に当たり、所要の改正を行うもの。

▼成田市児童ホームの設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて

【内容】平成21年4月1日から、豊住中学校を利用した豊住児童ホームを開設し、また久住児童ホームの新施設を開設するに当たり、所要の改正を行うもの。

▼成田市国民健康保険条例の一部を改正するについて

【内容】里親制度の改正と、4月から創設される小規模住居型児童養育事業制度に該当する児童については、医療給付が都道府県により全額措置されることから、国民健康保険の被保険者から適用除外とする規定を設けるもの。

▼成田市介護保険条例の一部を



▲4月1日開園の中台第2保育園

改正するについて

【内容】平成21年からの3年間の介護保険料率を定めるに当たり、所要の改正を行うもの。

▼成田市豊住運動施設の設置及び管理に関する条例を制定するについて

【内容】豊住中学校の体育館、運動場及びテニスコートを運動施設として有効活用するに当たり、条例を制定するもの。

【主な質疑】

問 使用料について地元住民との協議は。

答 施設全体の利用方針等、地元住民との協議が整うまで、当分の間、成田市に住所を有する方の使用料は無料とする。

▼成田市急病診療所の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて

【内容】急病診療所の歯科の利用者が少ないことから、診療時間を見直すに当たり、所要の改正を行うもの。

▼平成20年度成田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

【内容】事業勘定については、歳入歳出それぞれ1億2,400万円の増額補正を、施設勘定については、歳入での財源調整を行うもの。

▼平成20年度成田市老人保健特別会計補正予算(第1号)

【内容】歳入歳出それぞれ1,905万6千円の減額補正を行うもの。

▼平成20年度成田市介護保険特別会計補正予算(第2号)

【内容】歳入歳出それぞれ4,702万円の減額補正を行うもの。

▼平成20年度成田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

【内容】歳入歳出それぞれ1億413万3千円の減額補正を行うもの。

【主な質疑】

問 後期高齢者医療広域連合への納付金が減額されているがその要因は。

答 保険料の軽減対策が各種講じられ、それに伴う保険料の減収が主な要因である。

## 経済環境常任委員会

▼成田市愛玩動物葬祭施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて

【内容】ペット墓地をいずみ聖地公園南側に移設するとともに、納骨場を合同納骨場のみとし、使用対象者を市民に限定するもの。また、ペット火葬場の市民以外の者の使用料を市民使用料の2倍にする改正を行うもの。



## 【主な質疑】

問 市外の方の利用状況は。

答 年々増加しており、約37%を占める。

▼成田市環境審議会設置条例を制定するについて

【内容】成田市環境審議会及び成田市廃棄物減量等推進審議会を統合し、新たに成田市環境審議会を設置するに当たり条例を制定するもの。

▼成田市農政推進協議会設置条例の一部を改正するについて

【内容】委員構成から市議会議員を削除し、委員定数を16人以上に改正するもの。

▼成田市企業誘致条例の一部を改正するについて

【内容】より積極的な企業誘致を推進するため、奨励措置対象事業者の拡充、対象施設の範囲及び奨励期間の明確化を図る改正を行うもの。

▼香取広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び香取広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

【内容】解散する香取市東庄町清掃組合の事務を承継することに伴う事務の変更及び規約を改正することについて、関係地方公共団体と協議を行うもの。

▼平成20年度成田市公設地方卸

売市場特別会計補正予算(第1号)

【内容】決算見込に基づき、歳入での財源調整のみを行うもの。

▼平成20年度成田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

【内容】歳入歳出それぞれ3、800万円の減額補正を行うとともに、地方債の限度額の変更を行うもの。

## 建設水道常任委員会

▼成田市営住宅条例の一部を改正するについて

【内容】名木小学校の複式学級解消を目的に建設された名木住宅を、名称を名木団地と定め、市営住宅として有効活用することに伴い、所要の改正を行うもの。

▼市有財産の取得について(市道野毛平小泉線第一工区整備事業用地)

【内容】事業用地の取得に当たり、議会の議決を求めるもの。

▼市道路線の認定について(はなのき台北1号線外61路線)

【内容】公津西特定土地地区画整理事業地内の60路線及び芝地内3号線、本城馬場4号線について新たに市道認定するもの。

▼平成20年度成田市下水道事業特別会計補正予算(第1号)

【内容】歳入歳出それぞれ1億219万5千円の減額補正を行うとともに、地方債の限度額の変更を行うもの。

▼平成20年度成田市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

【内容】収益的収入及び支出では、それぞれ2、727万円の減額補正を、資本的収入及び支出では、それぞれ270万円の減額補正を行い、併せて企業債の限度額の変更を行うもの。

▼平成20年度成田市水道事業会計補正予算(第2号)

【内容】収益的収入及び支出の収入では4、985万4千円を増額し、支出では600万円を増額するもの。資本的収入及び支出の収入では3億5、630万円を減額し、支出では1億7、000万円を減額し、併せて企業債の限度額の変更を行うもの。



▲市道認定されたはなのき台内の道路

## ●人事案件

▼監査委員の選任の同意を求めるについて(福田 稔)

【同意】

▼人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて(小川信夫)

【同意】

▼人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて(池田忠彦)

【同意】

▼人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて(諸岡由吏子)

【同意】

▼人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて(金岡正剛)

【同意】

▼人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて(椎名武男)

【同意】

## ●発議案(議員提出の議案)

▼成田市議会委員会条例の一部を改正するについて

【可決】

## ●請願の審査結果

▼請願書(後期高齢者医療制度)

【不採択】

▼地元中小業者の事業継続に向けた支援を求める請願書

【不採択】

## 特別委員会から

空港対策  
特別委員会

執行部から3件の報告がありました。

「成田国際空港都市づくり推進会議について」では、まず、11月に実施した海外視察研修会の報告があり、また、空港の容量拡大に伴う経済波及効果調査の中間報告について説明があり、平成19年と比較した千葉県内の波及効果は、発着回数22万回で2、725億円、30万回で1兆1、833億円の増加という算定結果であったとのことでした。

## 【主な質疑】

問 9市町プランにおいて、発着回数30万回を前提として、成田市独自の政策を考えているのか。

答 9市町プランは、22万回を

## 平成21年 3 月成田市議会定例会審議案件一覧

議案番号	件 名	議決の結 果
7	成田市行政組織条例の一部を改正するについて	可 決
8	成田市水道事業管理者の廃止に伴う関係条例の整理等に関する条例を制定するについて	可 決
9	成田市個人情報保護条例の一部を改正するについて	可 決
10	成田市任期付職員の採用に関する条例を制定するについて	可 決
11	成田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正するについて	可 決
12	成田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正するについて	可 決
13	成田市職員の自己啓発等休業に関する条例を制定するについて	可 決
14	非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正するについて	可 決
15	一般職職員の給与に関する条例の一部を改正するについて	可 決
16	成田市介護従事者処遇改善臨時特例基金の設置、管理及び処分に関する条例を制定するについて	可 決
17	久住駅前特定土地区画整理事業区域内の字の区域及び名称の変更に伴う関係条例の整理等に関する条例を制定するについて	可 決
18	成田市社会福祉法人の助成に関する条例の一部を改正するについて	可 決
19	成田市保健福祉審議会設置条例の一部を改正するについて	可 決
20	成田市地域福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて	可 決
21	成田市保育所設置条例の一部を改正するについて	可 決
22	成田市児童ホームの設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて	可 決
23	成田市国民健康保険条例の一部を改正するについて	可 決
24	成田市介護保険条例の一部を改正するについて	可 決
25	成田市集会施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて	可 決
26	成田市豊住運動施設の設置及び管理に関する条例を制定するについて	可 決
27	成田市急病診療所の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて	可 決
28	成田市愛玩動物葬祭施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて	可 決
29	成田市環境審議会設置条例を制定するについて	可 決
30	成田市農政推進協議会設置条例の一部を改正するについて	可 決
31	成田市企業誘致条例の一部を改正するについて	可 決
32	成田市営住宅条例の一部を改正するについて	可 決
33	成田市水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正するについて	可 決
34	成田市消防委員会条例の一部を改正するについて	可 決
35	市有財産の取得について（市道野毛平小泉線第一工区整備事業用地）	可 決
36	指定管理者の指定について（荒海共生プラザ）	可 決
37	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合同規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	可 決
38	香取広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び香取広域市町村圏事務組合同規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	可 決
39	市道路線の認定について（はなのき台北1号線外61路線）	可 決
40	平成20年度成田市一般会計補正予算（第3号）	可 決
41	平成20年度成田市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可 決
42	平成20年度成田市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可 決
43	平成20年度成田市公設地方卸売市場特別会計補正予算（第1号）	可 決
44	平成20年度成田市老人保健特別会計補正予算（第1号）	可 決
45	平成20年度成田市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可 決
46	平成20年度成田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	可 決
47	平成20年度成田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可 決
48	平成20年度成田市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	可 決
49	平成20年度成田市水道事業会計補正予算（第2号）	可 決
50	平成21年度成田市一般会計予算	可 決
51	平成21年度成田市国民健康保険特別会計予算	可 決
52	平成21年度成田市下水道事業特別会計予算	可 決
53	平成21年度成田市公設地方卸売市場特別会計予算	可 決
54	平成21年度成田市老人保健特別会計予算	可 決
55	平成21年度成田市介護保険特別会計予算	可 決
56	平成21年度成田市農業集落排水事業特別会計予算	可 決
57	平成21年度成田市後期高齢者医療特別会計予算	可 決
58	平成21年度成田市簡易水道事業特別会計予算	可 決
59	平成21年度成田市水道事業会計予算	可 決
60	平成20年度成田市一般会計補正予算（第4号）	可 決
61	平成21年度成田市一般会計補正予算（第1号）	可 決
発議案 第1号	成田市議会委員会条例の一部を改正するについて	可 決

人事案件（議案第1号～6号）は省略

ベースに、重点的プロジェクトを検討、実施していくことになる。

「成田空港に関する四者協議会について」では、まず、空港容量拡大に向けた課題のうち、ピーク時間帯における処理能力向上の方策について説明がありました。また、「成田空港の更なる容量拡大の検討に当たっての確認書」の締結については、予測騒音コンターの早期提示に努めること、騒特法の地区等の見直しを行う場合、当該市町の意向を尊重すること、などが四者協議会で合意されたとのことでした。

### 【主な質疑】

問 容量拡大の方策として挙げられている、A・B両滑走路からの同時離発着は可能なのか。

答 国際民間航空機関の指針が示されており、成田での対応は国で検討していると聞いている。「成田空港地域共生委員会の新共生スキームについて」では、1月9日の会議をもって成田空港地域共生委員会が活動を終了し、新たな共生の枠組みについては、4月に発足する暫定的な組織において、新しい共生のスキームの構築について検討を行うとのことでした。

## 新駅・基幹交通網整備 促進特別委員会

執行部から4件の報告があり、成田新高速鉄道については、工事が順調に進められており、北総線改良工事も東松戸駅上りホームが供用開始され、京成日暮里駅改修工事等も順調に進められているとのことでした。今後のスケジュールについては、契約締結に至っていない地権者からの用地買収と、国の第2次補正予算に係る工事等を21年度に繰り越すとのことでした。また秋ごろからは新型スカイライナーによる走行試験を実施する予定とのことでした。(仮称)成田ニュータウン北駅の名称については、鉄道事業者がより慎重に精査しているとのことであり、また、(仮称)土屋駅については、2月24日に「土屋新駅設置に係る研究会」が開催され、「(仮称)土屋駅事業化推進調査」の概要説明や過去に抽出された課題に対する検討の進め方などについて協議を行ったとのことでした。

(仮称)成田ニュータウン北駅周辺整備については、駅南側では、用地交渉を実施しており、また、成田市土地開発公社所有

の駅前広場隣接地について、土地利用計画の策定作業を始めたとのことでした。駅北側では、既存JR線との立体交差について地質調査が終了し、20年度内に予備設計を完成させる予定とのことでした。

一般国道464号北千葉道路については、成田新高速鉄道との一体整備区間の1月末現在の用地取得契約率は、全線で91%とのことでした。北千葉道路単独区間では、各地区からの要望を踏まえた設計の修正が終了し、路線測量及び用地測量については20年度内に完了予定であり、用地については、12月から土地所有者と個別交渉を開始しているとのことでした。

首都圏中央連絡自動車道については、茨城県境から大栄ジャンクションまでの10.7キロメートルの用地取得率は、12月末現在で約8割であり、大栄ジャンクションから横芝間については、住民説明会が終了し現地調査に着手しているとのことでした。

## 新清掃工場整備 特別委員会

12月定例会以降、閉会中も委員会を開催しました。  
12月25日開催の委員会では、

## 平成20年度の行政視察

委員会名	総務常任委員会	教育民生常任委員会	経済環境常任委員会	建設水道常任委員会
視察日程	平成20年7月8日～10日	平成20年11月11日～13日	平成20年7月8日～10日	平成20年7月15日～17日
視察先 (視察内容)	鳥取県米子市 (安心・安全ネットワーク／市民自治基本条例) 島根県出雲市 (まちづくり条例／応援寄付条例) 島根県松江市 (市民活動センター)	京都府京都市 (ひとまち交流館京都／総合学習センター京都アスニー／京都市美術館)	北海道旭川市 (観光振興策) 北海道札幌市 (環境問題への取り組み／市場の活性化)	青森県八戸市 (景観行政) 岩手県盛岡市 (新都市開発事業) 宮城県名取市 (臨空都市整備事業)
委員会名	空港対策特別委員会	新駅・基幹交通網整備促進特別委員会	新清掃工場整備特別委員会	議会運営委員会
視察日程	平成20年9月30日～10月4日	平成20年9月30日～10月2日	平成20年6月30日～7月2日	平成21年1月27日～29日
視察先 (視察内容)	ベトナム (ノイバイ国際空港／タンロン工業団地)	奈良県生駒市 (けいはんな線新駅) 愛知県安城市 (南桜井駅) 愛知県刈谷市 (野田新町駅)	新潟県上越市(鵜の浜人魚館) 新潟県長岡市(エコトピア寿) 新潟県南魚沼市(環境衛生センター) 新潟県新潟市 (アクアパークにいがた)	山口県周南市 (議会改革・委員会懇談会他) 島根県浜田市 (議会改革・政治倫理条例)

※「成田空港に関する4者協議会」国土交通省、成田国際空港株式会社、千葉県、地元9市町で構成。





## 一般質問から



ライラック

一般質問は、市長などに市政全般について疑問な点や方針などをたずねるものです。

3月定例市議会では5会派の代表質問と、13人の個人質問がありました。

議会だよりに掲載されている内容は、会議録を抜粋したものです。詳しくは会議録をご覧ください。閉会后約2ヵ月で、市役所行政資料室、市立図書館、公民館図書室でご覧いただけます。

また、一般質問の様子は、市議会ホームページの議会中継でもご覧いただけます。

## 代表質問

## 市長の施政方針について

明成会 平良 清忠 議員

問 市長の施政方針について。

①空港容量拡大の手順、成田新高速鉄道の進捗状況、及び京成成田駅西口の整備計画について。  
②観光立市の具体的な施策、市内企業の積極的な活用、産直センター支援制度は。  
③保育園の管理運営、高度医療設備を備えた介護施設の整備、後期高齢者の人間ドック・脳ドックの助成について考えは。

④学校適正配置の今後の取り組み、スポーツ・レクリエーション施設、国際文化会館及びニュータウンセンタービルについて。  
⑤地域力を生かした安心・安全確保と新清掃工場について。  
⑥休日窓口サービスと支所のあり方について。  
⑦花の回廊整備事業と故篠崎輝夫氏の記念館の取り組みは。

答 ①四者協議会では予測騒音

コンター作成に着手することが合意されたが、前提条件である飛行コースの検討には、ある程度の時間を要するとのことである。成田新高速鉄道は、平成22年春開業を堅持すべく事業を進めていると聞いている。成田ニュータウン北駅周辺については、駅開業に遅れることなく整備していく。また、京成成田駅西口は、中央口全体の将来像を視野に入れて事業を推進していく。  
②イメージキャラクターを製作し活用したい。市内業者の積極的な活用は、工事等公共調達により育成を図るという方策もある。農産物直売活動の取り組みを支援していきたい。  
③今後の保育園の運営は、先進事例等を研究しながら検討していく。医療依存度の高い要介護者の受け入れ施設の整備は、第5期介護保険事業計画策定の中で検討していきたい。後期高齢者の人間ドック・脳ドック助成については前向きに検討する。  
④学校適正配置については、保護者や地区の方々と話し合いを重ねていきたい。スポーツ施設は利用者等の意見を参考に整備を、国際文化会館は、時代に合った会館を検討していきたい。ニュータウンセンタービル関連用地は、中央公民館・図書館用地と一体

的土地利用を図る。

⑤市民及び事業者の自主的な防犯活動を推進していく。新清掃工場の入札の遅れに関しては、引き続き現在の維持管理の中で適切に対応していく。

⑥休日窓口サービスの拡大は、試行の成果を検証した上で検討する。支所のあり方については、市域全体の均衡あるサービス提供の視点に立ち検討していく。  
⑦花の回廊整備事業は21年度から本格的に取り組む。故篠崎先

## 市長の施政方針と入札の健全化について

リベラル成田 油田 清 議員

問 市長の施政方針を受けて。

①大規模事業は優先順位を明確化し、庁内横断的な意思決定を図り取り組むべきではないか。  
②今日の経済情勢における成田市独自の経済雇用対策は。  
③敬老祝金のあり方について検討していく考えはないか。

答 ①優先度を見極めながら、効率的で効果的な行政運営に努める。また、組織機構の見直しにより、政策立案やトップマネジメント機能の強化、組織間の調整機能の向上を図る。  
②企業進出の積極的な環境づくり、雇用に対する奨励措置、就

生の記念館は、新規・既存の施設を利用しての展示方法についても検討していきたい。



▲ニュータウンセンタービル関連用地

問 入札の健全化を図るために。

①入札制度改革の現状と今後の課題について。  
②新清掃工場建設及び管理運営業務委託の入札における諸問題

業支援のためのパソコン講習会を実施している。また、求人情報等の提供事業を展開したい。中小企業の安定経営については、資金融資制度を継続し、資金繰りの円滑化に努めていく。  
③健康で活力ある高齢者の増加が見込まれるなかで、高齢者施策のあり方について検討していく必要があると考えている。



について伺う。

答 ①適切に競争原理が働き、落札率も低下している。工事の発注に当たっては、大半を占める5千万円未満の工事は市内業者に発注し、育成に努めている。

②安心安全のため、より慎重に対応すべく入札の中止という決断をさせていただいた。

指名審査会での手続、また入札公告開始後の条件変更が問題のないものであると考えているが、広く意見を聞き、誤解が払拭できるよう十分に検討すべきものと考えたところである。

## プレミアム付商品券の発行を

公明党 大倉重雄 議員

問 成田市の将来展望について。

①大規模事業の優先順位は。

②成田赤十字病院の内科医不足による診療の変更の周知徹底は。急病診療所への影響は。

③新型インフルエンザ対策は。

④妊婦健診14回の助成と、エコリー検査の拡大の考えは。

⑤新清掃工場建設入札問題は。

答 ①実施計画に位置付けることで明確にするが、社会経済情勢や緊急性の観点から弾力的な運営を行う場合もある。計画期間の見直しやローリング方式の

問 学校適正配置が進む中での施策について。

①給食センターの建て替えと自校方式の取り組みについて。

②今後の水泳指導の考えは。また、余熱利用施設の活用は。

答 ①新たな施設整備基本計画の策定に当たり、様々な角度から検討していきたい。

②民間施設を利用した水泳指導については、十分に検討していきたい。余熱利用施設の活用についても、関係部局と十分協議し検討していきたい。

問 生活防衛のための緊急対策。

①戦後最大の経済危機によって本市の地域経済の認識は。

②定額給付金と子育て応援特別手当についての準備は。

③プレミアム付商品券発行を

④雇用対策について。

⑤中小企業支援について。

⑥地域活性化について。

答 ①経営面、雇用面、設備投資面などから、経済活動の様々な面で影響が出ていると考える。②企画課内に定額給付金班を設置し、申請書の発送、電算システムでの処理等の検討を行っている。

③プレミアム付商品券の発行に

## 市長の施政方針と 新年度予算について

周政会 青野 勝行 議員

問 市長の施政方針と21年度予算について。

①滑走路の谷間地域や集落分断への対応、空港周辺の開発について、どのような施策や構想を持っているのか。

②活力ある産業を育てるため、地元企業への支援と農業経営の安定化に向けた取組みを。

③成田市総合保健福祉計画の策定にあたり、アンケート結果へどう対応するのか。また、成田

については、商工団体において実施に向けた調整が行われているが、実施となれば、市内経済の活性化や市民生活への支援が図れることから、成田市としても支援していく。商工団体と連携し、積極的に取り組んでいく。

④求人情報等を提供することにより、雇用機会の拡大と推進を図る事業を展開していきたい。

⑤融資や保証だけではなく、例えば公共工事においては、工事の計画的発注や前払金の支払い率の引き上げを行いたい。

⑥成田市で生まれた方々が、成田市で育ち、学び、就業できる環境づくりに取り組んでいく。

市独自の福祉計画構想は。④個性を生かす教育推進事業の効果と課題、小中学校の耐震補強の進捗状況は。

⑤新清掃工場整備及び運営事業の入札問題について、今後の具体的な対策は。

⑥行政サービスのあり方の1つとして、ワンストップサービスの計画はあるか。

答 ①騒特法の地区等を見直しを行う場合は、既存集落に可能

な限り配慮することとしている。また、谷間地域については、成田市独自の第1種区域と同等の対策を継続する。空港周辺の開発に対する施策や構想については、空港立地を生かした周辺地域調査事業により、方向性を示していきたいと考えている。

②工事等は、市内業者の育成を図ることを主眼として発注に努めている。農業推進策としての地産地消については、今後もよりよい支援システムの構築を目指していく。また、農業への雇用の開拓については、受け入れ先となる農家の意向等の把握に努めていきたい。

③計画書では、健やかで安心して暮らせる保健・医療の充実など4項目を柱に、施策の方向をまとめ、推進をうたっている。独自の福祉計画構想については、「住みなれた地域で安心して暮

らなれた地域で安心して暮らすための施策を推進する。また、成田

市独自の福祉計画構想は。④個性を生かす教育推進事業の効果と課題、小中学校の耐震補強の進捗状況は。

⑤新清掃工場整備及び運営事業の入札問題について、今後の具体的な対策は。

⑥行政サービスのあり方の1つとして、ワンストップサービスの計画はあるか。

答 ①騒特法の地区等を見直しを行う場合は、既存集落に可能



▲地産地消にもつながる農産物直売所

らせる交流のまち成田」を基本理念とし、保健福祉の充実を図っていききたい。

④平成20年度は、40名の少人数学習推進教員を配置し、学校現場で多岐にわたる役割を果たしている。耐震補強については、できる限り早期に完了すべく、

事業を進めている。

⑤より慎重を期するため、一旦入札を中止したところだが、再開に向けて引き続き十分に取り組んでいく。

⑥ワンストップサービスを可能とする総合窓口の設置について検討していく。

## 機構改革・人材の登用と 地域経済の活性化について

政友クラブ 岩澤 衛 議員

問 機構改革と人材の登用について。

①財政部・健康子ども部が創設される今回の機構改革について。  
②再任用制度の活用や人材の育成・登用について。  
③副市長2人制という選択肢もあるのでは。

答 ①より効率的・効果的な行財政運営体制の強化や、子ども関連施策の一体的な推進体制が整うものと考えている。

②再任用制度は有効な手段の一つと考えている。人材の育成・登用については、職員の資質向上、能力開発に努め、積極的に登用する必要があると考える。  
③諸課題に対処するための執行体制の選択肢として検討する。

問 地域経済の活性化について。

①空港容量拡大に向けた市長の決意は。

②空港のポテンシャルを最大限に生かすまちづくりについて。

③公共工事の発注について。

④成田市独自の農業振興策を。

⑤観光行政の問題点と今後の取り組みについて。

答 ①成田市の更なる発展のためにも取り組んでいかなければならないものと考えている。

②空港立地を生かした周辺地域調査事業により、新たな土地利用の方向性を示していきたい。

③発注に当たっては、市内業者の育成に努めている。また、21年度からは、計画的な発注に努力し、事務処理を一層迅速に行う。

④成田市の特性を生かした次期5か年計画の策定に向け、生産現場の取り組みや消費者の声な

どを食育等の取り組みと連携し、意向等の把握に努める。  
⑤点から面への観光へと転換を図り、滞在時間を延ばす必要があると考えている。

問 医療環境の現状と対策について。

①成田赤十字病院の現状と位置付けについて。

②市民の医療環境を充実させるためのサービスを。

答 ①内科医師の不足が伝えられた。成田市としては、2次、

3次救急医療機関として重要な病院であると認識している。

②千葉県では、夜間、小児救急電話相談事業を行っている。なお、成田市では、ひとり暮らし



▲勤務医の確保が望まれる成田赤十字病院

の高齢者の緊急通報事業を実施している。

問 新清掃工場の入札問題について、市長の考えを伺う。

答 具体的な完成目標については、入札再開に向けての取り組みとともに検討していく。

## 個人質問

### 空港の容量拡大に伴う 取り組みについて

海保 貞夫 議員

問 成田空港の容量拡大に伴う取り組みについて。

①1月23日に開催された四者協議会の経過と結論は。また、騒音地区である荒海、幡谷須賀辺田、土室、大室第二区等は、地

域を分断しないためにも予測騒音コンター提示前に、希望者が移転できるようにしてはどうか。  
②飛行回数30万回に増便された場合の飛行コースは、早いタイミングでの15度旋回が必要にな

ると考えられる。空港で発生するプラス面・マイナス面は全体で分かち合う必要があるが、成田市の見解は。

移転条件の緩和策による山林等の買い上げについて、市有林としての買い上げも検討できないか。また、空港の運用時間の延長について見解を伺う。

答 ①四者協議会では、更なる容量拡大の可能性を踏まえた予測騒音コンターの作成に着手することが合意された。着手の前提として、四者で確認書を締結し、コンター作成と併せて、環境対策・地域共生策への取り組みなど確認すべき旨の提案を県から受け、合意した。容量拡大の判断には、最終的には地元の理解を得る必要があると考えている。なお、コンターが提示されなければ、明確な騒音影響が判断できないため、提示前の移転はできないと考えている。

②15度振りに関しては、国より国際基準に定めがあると聞いているが、成田空港については、騒音対策上、直進上昇・直進降下方式が約束されており、可能な限り騒音影響を拡大させず、かつ航空の安全が確保できるコースを基本に検討することが確認されている。空港の、特にマイナス面については、内陸空港と





▲延伸が期待されるケーブルテレビ

**問** 市の情報配信について。

①情報配信の方法で地上デジタル放送移行準備状況と活用方法、インターネットによる市ホームページの活用及び成田ケーブルテレビ株式会社の延伸計画と市によるケーブルテレビの活用。

②配信される情報内容について、情報の均一化ができないか。

**答** ①地上デジタル放送への移行は、平成21、22年度で整備する。定例記者会見など情報の配信は手法も含め研究する。成田

## 市の情報配信と食育について

水上 幸彦 議員

して今後も環境対策・地域共生策を確実に実施していく必要があると強く感じている。

移転補償の山林等の買い上げについては、空港会社で、一部を除き対象としていない。なお、

利用目的のない用地を市で買い上げることは非常に難しい。

発着回数30万回における空港の運用時間については、拡大することなく、現行の6時から23時までとのことである。

ケーブルテレビの活用は、今後の進捗を見ながら対応する。

②有効的な利活用と配信内容についての情報の均一化に努める。

**問** 防犯対策について。

①防犯灯設置基準と宅地開発業者への設置指導、及び自治会未整備地域への成田市の考え方。

②防犯に関する情報配信に振り込め詐欺の情報や既遂、未遂にかかわらず事件の情報配信の考え方。

③防犯パトロールを行う各種団体が、効果的な活動ができるような調整について伺いたい。

**答** ①平成20年度予算で対応できなかったものは、速やかに設置できるよう現地調査等の事前作業を進めている。開発事業者に対しては、計画的に設置されるよう指導していく。

②今後も警察署と情報交換を密にし、自主防犯活動に役立つような情報の配信に努める。

③今後も各種情報の速やかな伝達と意見交換会の定期的な開催に努める。

**問** 食育について。

①成田市の食育の考え方、取り組みについて再度伺う。

②義務教育の中の食育で、食物アレルギーを持つ児童生徒の除食の導入と対応を伺う。

③学校給食に除去食の導入で、自校方式やデリバリーによる対応も含め、食育の観点からの給食センターの考えを伺う。

## 「市民参加型行政」推進のために

足立満智子 議員

**問** 成田市の自治の仕組みを明確化する「自治基本条例」の策定にあたっては、公募による市民委員会の設置を。

**答** 自治基本条例は、まちづくりの基本原理を定め、住民の権利の確立や責務を明確にするものであることから、策定に当たっては、広く市民を公募し検討組織を立ち上げ、市民の意見を十分反映させながら、進めていきたい。

**答** ①横断的な体制作りを進めるとともに、関係機関等と一体となり、食育推進計画の策定に取り組んでいく。

②各学校で個別の対応を講じながら、安全・安心な学校生活を送れるよう支援していく。

③基本計画策定に当たり、様々な角度から検討していきたい。

**問** 納骨堂整備について、調査研究と取り組みを伺う。

**答** 設置経緯や利用形態等を調査、検討してきた。次期5か年計画の中に位置づけるなど十分検討していく。

**問** 審議会のあり方について。

①行財政改革や時代の変化等の視点から、整理統合、設置、運営等改善についての現状は。

②公募の推進、女性委員の積極的登用、1委員1委員会、在任期間等の適正化への配慮は。

**答** ①活動が不活発なものや設置目的や審議事項が類似しているもの、審議会を設置しなくても市民意見の反映が可能なものがないかなど、そのあり方について検討していきたい。

②行政改革大綱に「審議会及び審議会委員の見直し」を体系づけ、市民参画型行政を推進している。

**問** 新清掃工場整備及び運営管理事業の入札中止問題について。

①専門家による検証結果と、今後の方向性について、市民の納得が得られる説明を。

②入札の公正・公平・透明性を高めるために、指名業者選定審査会規程の改正を求める。

**答** ①社団法人全国都市清掃会議に相談した結果、入札関係図書には特に問題がないが、入札参加資格要件の可否についてはコメントする立場にはないとのことであった。

②より高度化、専門化した審議が求められる状況も見受けられるようになってきているので、関係職員による資料提出や説明員としての審査会への参加については、今後検討させていただく。

**問** 騒音問題について「地域の環境と生活に関する調査」を政策としてどう生かしていくか。

**答** 京都大学と共同で調査を実施し要望を行った。これらにより平成25年4月からは、航空機騒音の評価指標がLdenに変えられるが、基準値が適性か実

次ページに続く

## 成田土屋駅整備と 学校づくりについて

海保 茂喜 議員

証し、乖離があれば改善される  
よう要望していく。

**問** 成田土屋駅について。

①将来の需要を考えると行き違い駅としての役割は必須では。

②鉄道を利用した循環型まちづくりについて。

③空港圏の鉄道駅まちづくりに関する提言について。

**答** ①行き違い可能な施設が増えるため、より幅の広い運行ダイヤが検討できるものと考えている。

②鉄道に交通手段を変更することで、環境にも配慮したまちづくりにつながるかと考えている。

③21年度に新駅需要の予測調査を実施したいと考えている。

**問** 少子高齢化を生かす学校づくりについて。

①小中学校統廃合と通学区域の合理的編成について。

②学校の適正規模と適正配置について。

③小中一貫教育について。

**答** ①②地域の中の学校という視点を重視している。児童生徒のことを第一に考え、適時学級編制替えが可能になる規模が適正であると考えている。

③導入を視野に入れた検討をしていきたい。

**問** 与えられる空港から市民が支える空港へ。

①成田と羽田の一体的な連携による利便性向上を。

②発着枠拡大をするための方策と騒音地域の生活環境の保全について見解は。

**答** ①国において検討がなされているので注視していきたい。

②予測騒音コンター作成の前提となる飛行コースは、国が検討

## 地方分権と農業振興について

秋山 忍 議員

**問** 地方分権について。

①地方分権の考え方、特に地方分権から地域分権への基本的な考え方を伺う。

②公共施設は、その地域の実情に合わせ、利用しやすい時間帯での利用方法にできないか。

③地域交付金の創設を検討すべきだと思いが見解を。

する。コンター提示の際は、環境対策・地域共生策に関する基本的な考え方を併せて示し、また、騒特法の地区等の見直しを行う場合、当該市町の意向を最大限尊重することとされている。

**問** 支えあいの福祉社会に向けて。

①増える介護離職の現状と対策。

②子育てしやすい社会、地域づくりの構想と行動について。

**答** ①介護保険制度や成田市独自の福祉制度により、在宅で介護されている方や介護者の支援に努めている。

②国が示している新たな少子化対策等の考え方を踏まえながら、成田市の少子化対策、子育て支援策の充実に努めていきたい。

**答** ①地域住民と行政が、適切な役割分担によって課題を解決していくことができるような仕組みを検討する必要がある。

②利用条件に差異を設けることは難しいが、地域分権が進展した段階では可能になるのではないかと考えている。

③先進自治体の事例も参考にしながら、研究していきたい。

ながら、研究していきたい。

議会を中心に、協議を進めたいと考えている。

③農商工連携を図り、研究をしていきたいと考えている。

**問** 農業振興について。

①合併して3年、成田市農業の方向性を明確にし、新たな農業振興の基本方針を策定すべきではないか。

②園芸用廃プラスチック処理対策事業について、農家負担全地区無料での統一はできないか。

③農業を新たな観光資源として活用できないか検討を。

**答** ①当面は国の動向を注視しながら、地域の特性に応じた農業振興策の推進を図ることが肝要であると考えている。

②農業用廃プラスチック対策協



▲“日本一のいも掘り広場”（大栄地区）

**問** 医療問題について。

①医療を取り巻く環境の変化に対する対応の見直しについて。

②成田赤十字病院の医師不足対策について。

③循環型地域医療連携システムの構築について。

**答** ①まずは病気についての知識を持つていただくこと、コンビニ受診を控えるといった本来の受診のあり方について、啓発を図っていきたい。

②勤務医の確保は病院経営の問題であることから、医療体制の整備を強く要請していきたい。

また、一次救急が成田赤十字病院に集中することのないよう、急病診療所の広報などを周辺自治体とともに実施していく。

③限りある医療資源を効果的、効率的に活用するために、正しい受診のあり方について、広報を今以上に進めていく。

## 新清掃工場問題と 雇用対策について

馬込 勝末 議員

**問** 新清掃工場問題について。

①ガス化熔融炉シャフト式の見



直しを求める。

②ごみ量の見込みは過大ではないか。施設規模の見直しを。

③維持管理の20年契約はやめるべき。

④土木工事等は分離発注が可能ではないか。

⑤計画を一旦白紙に戻し再検討を求める。市長の見解は。

答 ①ごみ問題を取り巻く社会状況等の変化を考えても、なお機種選定委員会の結論が有効であり、機種を変える必要性はないものと考えている。

②見直す考えはない。

③効率的な運営やリスク分担を原則として、民間ノウハウの発揮が可能な期間として20年間を一括して委託するものとした。

④性能発注方式により進めるものであり、総合的に考慮し一括発注が最適であると判断した。

⑤機種見直しの理由または根拠がないことから考えていない。

問 雇用対策について。

①市内の企業に対して、雇用維持、及び非正規労働者の雇止め防止の要請を。

②成田市の臨時職員の採用など、雇用の拡大を。

③生活保護の活用や住宅の確保など、離職者の生活支援を。

答 ①経済団体等を通じ、国の

各種制度を活用しながら、できるだけ限り雇用維持に努めるとともに、法令等を順守するよう要請していきたい。

②雇用の際には、解雇、派遣解除、内定取り消しといった方々について配慮していきたい。

③離職者に限らず、真に生活に困窮する方には、生活保護を適用しており、住宅の確保については、県営住宅や雇用促進住宅の案内をしていきたい。

問 不要不急事業の見直しと生活密着型の公共事業の促進を。

## 成田空港問題と農業政策について

小澤 孝一 議員

問 成田空港問題について。

①四者協議会の内容について。

②今期限りで成田空港地域共生委員会が幕を閉じたが、今後どのように対応していくのか。

答 ①空港の更なる容量拡大の可能性を踏まえた予測騒音コンターの作成に着手することが合意された。また、県からの提案を受け、四者で「成田空港のさらなる容量拡大の検討に当たっての確認書」を締結し、予測騒音コンター作成と併せて、環境対策・地域共生策への取り組み

答 大規模事業は、必要性を見極めた上で計画的に推進しており、生活に密着した事業についても、住民ニーズを踏まえ、積極的に取り組んでいる。

問 成田空港四者協議会等の結果について、「経済波及効果調査」中間報告の客観性は。

答 「平成12年千葉県産業連関表」を使用し、空港の容量拡大による直接効果と県全域への経済波及効果や雇用数等を、2次波及効果まで算出したと聞いている。

問 成田市の農業政策について。

①生産調整未達成農家に対する今後の指導はどのように考えているのか。

②肥料及び施設園芸用燃油の高騰に対する緊急対策事業について、申込者数と農家のメリットはあったのか。

③今後の減反政策の見直しはあるのか。

答 ①平成20年度の転作達成率は66.3%である。産地確立交付金等を活用し、生産調整実施者との不公平感の解消に努めるとともに、未達成者に対し各地区説明会や地区水田協議会等を通じ、理解と協力をお願いしていく。

②すべて肥料高騰対策で、農家数約260名の申請があり、生産コストの低減への取り組みに一定の効果が期待される場所である。

③国は21年産から水田等を有効に活用し、食料供給力向上に取り組むとしたところである。国の動向を注視し、県その他関係

## 自治体が病院に期待するもの、食の安全について

伊藤 竹夫 議員

問 自治体が病院に期待するものは。

①成田赤十字病院の医師不足の顕在化と、厳しい医師確保の課題について。

②持続可能な経営と自治体に求められる役割について。

答 ①医師の確保について、千葉大学をはじめ複数の大学に依頼していると聞いている。

②病診連携や中核病院としての機能充実について要望することにも、医療の適正受診の啓発を図るなど、支援していきたい。

機関等と連携し取り組む。

問 四谷、新川地区の字名の変更について。

答 字変更の検討については、住民生活に不利益が生じているかどうか慎重に見極め、様々な問題を併せて整理する必要がある。四谷、新川については、合併前からの課題であることを踏まえた上で、今後検討させていただきたい。



▲字変更にはなお検討課題も多い

**問** 予防医学について。

①今後の市民との取り組みについて、どのように考えているか。

②今後のまちづくりを、予防医学を軸にする考え方について。

**答** ①予防に関する情報提供、市民の実践に対して支援するほか、環境づくりに取り組む。

②千葉大学予防医学センターと協定を締結したところであり、今後、市民一人ひとりが健康で活力ある地域づくりの形成と発展に努めたい。

**問** 食の安全と自治体行政について。

①食育について、実施しようとしている具体的な取り組みは。

②食育に取り組む体制は。

③食育の最終目的は。

**答** ①国・県の推進計画を踏まえ、「成田市食育推進計画」の策定に取り組んでいく。

②庁内横断的なプロジェクト

## 定額給付金と 後期高齢者医療制度について

荒木 博 議員

**問** 定額給付金について。

①成田市の経費と給付方法は。

②給付による経済効果は。

③詐欺などに遭わないセキュリティ対策は。

△等の設置の検討や、計画策定のための協議会等の設置により、体制づくりをしていきたい。

③食育推進計画に即した食育の推進を図り、豊かで活力ある社会の実現を目指していきたい。

**問** 地域農業の活性化について。

①地産地消の取り組みへの支援は。

②生産者の顔が見える直売所のあり方をどうとらえているか。

③低炭素社会実現への農業の役割について。

**答** ①直売所活動への支援や、アグリフレッシュマップの作成、地元農産物のPR等、消費拡大を支援している。

②ソフト・ハード両面において、取り組みを支援していきたい。

③循環型農業は、資源の有効活用を図り、環境への負荷を低減させる取り組みであり、成田市としても支援していきたい。

④循環型農業は、資源の有効活用を図り、環境への負荷を低減させる取り組みであり、成田市

④循環型農業は、資源の有効活用を図り、環境への負荷を低減させる取り組みであり、成田市

④循環型農業は、資源の有効活用を図り、環境への負荷を低減させる取り組みであり、成田市

④循環型農業は、資源の有効活用を図り、環境への負荷を低減させる取り組みであり、成田市

④循環型農業は、資源の有効活用を図り、環境への負荷を低減させる取り組みであり、成田市

**答** ①総給付額は約19億円を見込んでおり、申請書をもとに世帯主の口座に振り込む方式を基本として考えている。

②内閣府では約4割が消費に回



▲西中学校分離新設校用地(公津の杜)

ると想定しており、成田市では約7億6千万円の経済効果があることとなる。

③広報やホームページで注意を促し、また、郵送方法や市からの連絡方法も検討する。

**問** 後期高齢者医療制度について。

①保険料の一律助成について。

②人間ドック・脳ドックの助成をできないか。

**答** ①保険料のあり方は、広域連合を中心に市町村全体で検討することが望ましい。

②成田市として前向きに検討していきたい。

**問** 学校関係について。

①給食の自校方式の考えは。

②新設中学校建設及び公津地区のスポーツ広場の計画は。

**答** ①新たな施設整備基本計画の策定に当たり、様々な角度から検討していきたい。

②西中学校分離新設校は、平成25年度の開校を目的に建設する計画である。スポーツ広場は、現在、候補地を調査している。

**問** (仮称)公津の杜複合施設の、今後の建設計画は。

**答** 本事業を取り巻く状況が著しく変化したことを受けて、見直し作業を行っている。文化ホールは今後の計画に委ねることとし、よりコミュニケーションに重点を置き、図書館、市民ギャラリー

等、今後の建設計画は。

③混雑時の対応として、リサイクル式簡易トイレを設置する予定である。

③空港会社と連携し、設置に向け取り組んでいきたい。

**問** 市長の政治姿勢について。

①国民健康保険証の取り上げをやめ、すべての市民に安心医療を。自治体独自の取り組みや、病気状態の加入者への無条件の保険証交付について見解を。

②新清掃工場計画について。入札条件の変更、入札手続きの中止が何故起こったのか。平成20年12月4日の指名審査会に至るまでの担当部局の検討の経緯はどうであったのか。

二酸化炭素排出値が最も高い

二酸化炭素排出値が最も高い

二酸化炭素排出値が最も高い

二酸化炭素排出値が最も高い

二酸化炭素排出値が最も高い

等の拡充を検討している。

**問** さくらの山整備について。

①観光名所としての基盤整備の内容は。

②トイレの改善の考えは。

③乗り入れ航空会社のマーク表示看板を設置できないか。

**答** ①未利用の雑木林の間伐を行い、園路整備や植栽を実施する予定である。

②混雑時の対応として、リサイクル式簡易トイレを設置する予定である。

③空港会社と連携し、設置に向け取り組んでいきたい。

③空港会社と連携し、設置に向け取り組んでいきたい。

③空港会社と連携し、設置に向け取り組んでいきたい。

③空港会社と連携し、設置に向け取り組んでいきたい。

③空港会社と連携し、設置に向け取り組んでいきたい。

③空港会社と連携し、設置に向け取り組んでいきたい。

③空港会社と連携し、設置に向け取り組んでいきたい。

③空港会社と連携し、設置に向け取り組んでいきたい。

③空港会社と連携し、設置に向け取り組んでいきたい。

③空港会社と連携し、設置に向け取り組んでいきたい。

③空港会社と連携し、設置に向け取り組んでいきたい。

## 市長の政治姿勢について

鵜澤 治 議員

**問** 市長の政治姿勢について。

①国民健康保険証の取り上げをやめ、すべての市民に安心医療を。自治体独自の取り組みや、病気状態の加入者への無条件の保険証交付について見解を。

②新清掃工場計画について。入札条件の変更、入札手続きの中止が何故起こったのか。平成20年12月4日の指名審査会に至るまでの担当部局の検討の経緯はどうであったのか。

二酸化炭素排出値が最も高い

二酸化炭素排出値が最も高い



件で被保険者証を交付することは考えていない。

病状状態の被保険者については、申し出があれば即日交付するなど、速やかに適切な対応をしているところである。

②業者選定に当たっては、建設する施設規模以上を基本要件として、処理能力が1炉当り106トン以上、かつ2炉以上の実績を有するとしたものである。入札については、12月19日に公告をしたが、事務手続上の不手際から公告内容の一部を変更して、同日、再度公告し、より慎重を期するため入札条件を専門家に検証させることとし、入札を中止したものである。

二酸化炭素対策については、

## 豊住中学校閉校に伴う 教育環境について

佐久間一彦 議員

問 豊住中学校閉校に伴う教育環境について。

①統廃合により環境が大きく変化する生徒の心のケアについて。  
②統廃合に伴う学習環境の変化に対するケアについて。

答 ①②統合加配教員を配置するとともに、教育委員会として、少人数学習推進教員、健康推進教員、特別支援教育支援員

機種選定委員会で、ヒヤリングの結果を踏まえ総合的に判断して、最終的にガス化溶融炉シャフト式が選定されたと認識している。新清掃工場では、発電や温水等の余熱利用を行い、結果として二酸化炭素の発生抑制に効果があるものと考えている。

運転業務の積算に当たっては、全国都市清掃会議の要領や先進自治体の状況、メーカーの見積もりを参考としたものである。なお、契約の見直しの考え方が、原則として成田市と特別目的会社で必要に応じて協議する契約であり、技術革新や業務改善による効率的な運営を前提とした対応としていきたい。

学校生活に順応できるよう職員全員で生徒を見守っていく体制を強化していく。

両校の生徒たちの抱える不安や悩みに耳を傾け、少しでもその解消に向けた試みを実施できるように努めていきたい。

問 豊住地区の今後の地域振興について。

①豊住地区は昭和45年に市街化調整区域に指定されて以来、約600人も人口が減少しているが、何らかの施策が展開できなかったのか、豊住地区の都市計画上の位置付けについて伺う。  
また、一種の起爆剤となり得る施策の展開を望むところだが、市長の見解は。

②豊住中学校の跡地をどのように活用していくのか。

## 新高速鉄道の運賃体系と 成田市の教育について

雨宮 真吾 議員

問 成田新高速鉄道における適正な運賃体系などについて。

①適正な運賃体系について、成田市はどう考えているか。  
②北総線運賃問題対策協議会の要望後の進展、進捗は。  
③協議会と連携し要望活動を行っていく考えはあるか。

答 ①豊住地区は豊かな自然環境を有している地区でもあり、「成田市都市計画マスタープラン」では、良好な地域環境の創出、良好な自然環境の保全・活用といった方針を定めたところである。また、起爆剤となり得る施策については、自然体験型スポーツの基盤整備を推進することなどにより、地域の活性化につなげることも考えられる。

②校舎の一部を児童ホームとして、体育館、運動場及びテニスコートを市民の健康増進及びスポーツ活動の促進を図る施設として利用していく。敷地を含む施設全体の利用方法については、地元の方々と協議させていた。また、地域のニーズや意見を十分反映していきたい。

④成田市として要望活動などを行っていく予定はあるか。  
⑤運賃認可申請実施時期の見通しは。

答 ①今後、京成電鉄株式会社が運賃上限設定認可を取得する手続の中で、適正な運賃が設定されるものと考えている。



▲工事が進む成田新高速鉄道

②千葉県が中心となつて北総線沿線自治体の副市長会議と勉強会を立ち上げたと言われている。  
③沿線の自治体がすべて参加しているわけではないので、状況をよく見極めていきたい。  
④京成電鉄株式会社や国、県に対し、引き続き要望していく。  
⑤現時点では見通しがついていないとのことである。

問 成田市の教育について。  
①成田市の教育の独自性について。

②学習指導要領の改訂をどのように受けとめているか。また、新学習指導要領の平成24年度の全面実施に向けての移行内容、スケジュールは。

③国際教育推進特区のこれまでの成果と今後のあり方について。  
④ゆとり教育の成果をどう分析

し、どう評価しているのか。

答 ①今後も成田市学校教育長期ビジョンに基づいて、成田市の独自性を発揮するとともに、教育水準の維持向上を図る。

②改訂の基本的な考え方は、成田市が目指す方向性と一致するものと認識している。移行期間は、英語科の創設・拡充のため、生活科及び総合的な学習の時間を削減する以外は、国の移行措置の時数に従って実施する。道徳、特別活動、総合的な学習の時間は21年度から先行実施し、

算数・数学、理科は、21年度から順次実施する。

③意欲や態度面、コミュニケーション能力面、言葉や文化に対する関心・理解面など、目標がほぼ達成されているものと認識している。21年度からは、新たに下総中学校・大栄中学校でも英語科授業時数を拡充する。

④地域を愛する気持ちが育ってきたことは評価できるが、学力の向上は、さらに努力すべき課題であると認識している。

## 歩いて暮らせるまちづくりと生活排水対策について

内山 健 議員

問 歩いて暮らせるまちづくりについて。

①バリアフリー新法に基づく基本構想の策定について。

②道路整備や新たな道路計画の中で、バリアフリー化についての取り組みは。

③現在進められている駅前再開発整備計画区域を、重点整備地区に指定して、バリアフリー化のモデルとなるよう整備の推進を図ってはどうか。

答 ①基本構想は策定していないが、総合計画において、バリアフリー化を推進している。

②国、県の基準やマニュアルの趣旨を踏まえて改善等に努めている。歩いて暮らせるまちづくりに向けて、中心市街地などで順次整備、改善に努めていく。

③バリアフリー新法や千葉県福祉のまちづくり条例等を踏まえて、高齢者や障がい者に優しいまちづくりに努めていきたい。

問 田町の農業共済組合跡地の利用計画について。

答 地域の方々の意向を踏まえ、様々な観点から検討したい。

問 生活排水対策推進計画について。

①生活排水対策推進計画の達成状況と新たな推進計画の施策は。

②公共下水道の整備完了目標年度の考え方は。

③合併浄化槽の整備状況と今後の計画は。

④災害時のし尿処理の対応と防災拠点での対策について。

⑤集中処理浄化装置を設置する住宅開発業者への指導と対応は。

答 ①生活排水による汚濁負荷量の削減については改善されてきているものと思われる。新計画に盛り込まれる新たな施策は、基礎調査や庁内各課との調整等を踏まえ十分検討していく。

②全県域汚水適正処理構想及び国、県の上位計画に整合させ決定していく。

③平成24年度までの5カ年で765基設置する計画である。

④し尿の収集は、委託業者に依頼するが、大規模災害時には県と収集業者の協定に基づき要請を行う。防災拠点においては、

初動時には備蓄品により、その後は仮設トイレの調達などにより対応する。

⑤民間企業が開発する場合、指導等を行う機会はないが、修繕工事補助金制度の周知や、適正な維持管理をお願いしている。

## 市議会ホームページをご覧ください

議会の結果や予定のほか、議員名簿など様々な情報を掲載しています。また、本会議の様子を、ライブ中継と録画中継（平成20年6月以降）でご覧いただけます。

【成田市議会HP】

<http://www.city.narita.chiba.jp/gikai/index.html>

また、成田ケーブルテレビでも生中継を行っています。

## 議会を傍聴してみませんか

本会議はもちろん、常任委員会・特別委員会も傍聴することができます。

委員会の傍聴は、30分前から議会事務局で受け付けます。傍聴席10席のほか、モニター室も用意しています。

くわしくは、市議会事務局 TEL20-1570

## コーヒータイム



また素晴らしい桜の花の季節となりました。成田には昔から花の名所がたくさんありますが、近年、植樹によってさらに、お花見のできる場所が増えてきました。

しかしながら、以前に比べると桜の開花はだいぶ早まった気がします。これも地球温暖化の影響と思われるが、聞くところによりますと、九州地方では、

冬の寒さ不足から、逆に開花が遅れているとか。そんな話を耳にすると、今さらながらに自然の不思議を感じずにはいられません。

私達もこの時期、桜の花を愛でる気持ちも大切ですが、そういった現象に触れて、環境への意識も高めたいものです。S・M

6月定例会市議会は、6月5日(金)開会予定です。

☆☆☆☆「成田市議会だより」についてのお問い合わせは、市議会事務局へ。

電話(20)1570直通

ファクス(24)0336

ホームページ

成田市議会

検索